

ワークショップ進行シート

作成日： 2018年 7月 30日

タイトル： RA・SHI・SA～ありのままでIをさけべ～

ファシリテーター（グループ）： 新潟県立大学 現実班

1：本ワークショップの要旨

本ワークショップ（以下 WS）は、「男性らしさ」「女性らしさ」とは一体何なのか、「らしさ」の概念はどのように形成されたのかについて児童生徒とともに考える。具体的にはトイレのマークや色、職業名の変化、世界の男女の議員数などの例を取り上げる。この WS を通して、「らしさ」の意識は実は社会や文化により与えられた一つの価値観に過ぎず、男に生まれても女に生まれても一個人として見れば社会の中での可能性はみな同じであるということ、そして最終的に性別に関係なくお互いを認め合い、個を尊重することが大切であるという気付きにつなげたい。

2：本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

- ・ 生徒それぞれの中に固定概念があることを理解する。
- ・ 世界の現実に興味を持ってもらう。
- ・ 性別に関係なく個人を尊重する意識を育む。
- ・ 自分の意見を持つことを大切に、他社の意見を尊重する姿勢を育む。

3：本トピックをとりあげる理由

私たちは日本で生活しているため、日本という環境で構築された固定概念が多からずとも存在する。その存在に気付いてもらい、世界との意識、考え方の差や考えの多様性について受け入れる心を持つための機会を作るため。そして、性別にとらわれない個人を尊重する意識を創造してもらいたいため。

4：活動過程 （使用時間： 110分（休憩を含む） 参加人数： 40人程度）

過程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・説明・動きなど	ねらい	使用する教材・備品	予想される反応・その他、注意事項

<p>導入：起 (35分)</p>					
<p>(3分)</p>	<p>・自己紹介</p>	<p>・ファシリテーターの大学名、名前、ニックネームなどの紹介</p>	<p>・ファシリテーターのニックネームを知ってもらい、活動中気軽に呼んでもらうようにする。</p>	<p>ファシリテーターの名札</p>	<p>・ファシリテーターの自己紹介を聞く。</p>
<p>(15分)</p>	<p>・アイスブレイキング「アイデンティティゲーム」</p>	<p>・アイデンティティゲームのやり方を説明し、紙を配る。紙に問題のイラストを描き、自分以外の人の中に貼る。クラス内で質問を繰り返しながら自分が何者なのかを当てる。</p>	<p>・自分が何なのかを当てる際の質問にも固定概念が存在することに気づいてもらう。</p> <p>例：医者イラストを描いたのであれば、そのイラストの性別は男性になりがち。など</p>	<p>筆記用具、紙、テープ、プロジェクター</p>	<p>・試行錯誤しながら自分が何なのかを当てるために質問をする</p> <p>(注意) 質問は、はいもしくはいいえのみでこたえられる質問のみということを事前に伝える。</p>
<p>(5分)</p>	<p>・世界のトイレのマーク</p>	<p>・世界で実際に使用されているトイレのマークを提示し、そのマークは女性用トイレなのか男性用トイレなのかをクイズ形式にして活動する。</p>	<p>・日本では、▼は男性用、▲は女性用という認識があるが、世界にはいろいろなトイレのマークがあることを知ってもらう。</p>	<p>机、椅子、プロジェクター</p>	<p>・世界のトイレのマークを見て、日本で見るものだけでなくないマークもあることを知る。</p>

<p>(5分)</p>	<p>・みんなのランドセル</p>	<p>・生徒が使っていたランドセルの色を聞く。</p>	<p>・今だからこそ水色やピンク色など様々な色のあるランドセルだが、昔は、男の子は黒、女の子は赤というのが、普通であったことを知ってもらい、時代とともに社会も変化したことに触れてもらう。</p>	<p>机、椅子、プロジェクター</p>	<p>・自身のランドセルの色を思い出し、生徒同士で話し合う。</p>
<p>(7分)</p>	<p>・戦隊モノ・アニメから見る男女の違い</p>	<p>・まず〇〇レンジャーを例に赤は男女どちらなのか、それでは黄色は、ピンクはどちらなのかと考えてもらう。それでは白色のレンジャーなら男女どちらなのかと考えてもらう。次にサザエさん一家から、男女での職業に注目して思い返してもらう。</p>	<p>・日々知らないうちに、色や職業についての意識の植え付けがあることを知ってもらう。</p>	<p>机、椅子、プロジェクター</p>	<p>・見たことのある戦隊モノやサザエさんを思い出し、グループで話し合いながら考える。</p> <p>(注意) サザエさんの時代背景が40年前頃であることをあらかじめ提示する。</p>

<p>展開：承 (30分)</p>					
<p>(15分)</p>	<p>・身の回りの男女間の不平等・差別を考えてみよう</p>	<p>・各班にカードを配布する。</p> <p>・それぞれの感じているもしくは目にしたことのある男女間の不平等を書き出してもらおう。</p>	<p>・文字に書き出すことで可視化し、班のメンバーと共有する。</p> <p>・自分では気にしていなかったことでも班のメンバーは不平等だと感じていることに気づく。</p>	<p>机、椅子、プロジェクター、カード、筆記用具</p>	<p>・各自カードに自分の思う不平等を書き出す。</p> <p>・班内で共有する。</p> <p>(注意)</p> <p>・各班に一人ファシリテーターが付き、考えに詰まっている生徒のサポートをする。</p> <p>・書き出す不平等がカードの時点で男女どちらのものかわからないようにする。</p>
<p>(10分)</p>	<p>・生徒休憩</p>	<p>・カードを回収し、パワーポイントに記入。</p>			
<p>(5分)</p>	<p>・不平等・差別の分類</p>	<p>・考えてもらった不平等をパワーポイントに写す。</p> <p>・映し出された不平等が男女どちらの不平等なのかを分類する。</p> <p>・分類した理由を何班かに聞く。</p>	<p>・分類がそれぞれに男女違う認識であることを理解してもらおう。</p>	<p>机、椅子、プロジェクター、男女の札（班の数）</p>	<p>・悩みながら男女どちらの感じる不平等なのかを分類する。</p>

<p>発展 : 転 (35分)</p>	<p>(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の現実（レクチャー） 女性目線 男性目線 名前の変わった職業 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ガラスの天井」を紹介。 ・「ガラスの地下室」を紹介。 ・世界、国内での名前の変った職業を紹介。 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の抱える社会進出の難しさを学んでもらう。 ・男性の抱える労働の苦悩を知ってもらう。 ・看護婦が看護師に変わったように、名前の変った職業を通して社会の変化に気づいてもらう。 	<p>机、椅子、プロジェクター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターの話を聞く。
<p>(10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男女のくくりがない社会 	<ul style="list-style-type: none"> ・もし男女のくくりがない社会なら、どのような社会だろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女のくくりがなかったら、性別に関係なくひとりひとり個人を尊重できる社会があるという意見を引き出す。 	<p>机、椅子、筆記用具、プロジェクター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男女のくくりがない社会という少し難しい問題について班員と協力して考えてみる。
<p>(10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなの知らない私 	<ul style="list-style-type: none"> ・まだクラスに知られていない自分を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の知らない（他人の知っている）自分を知ることができる。 	<p>机、椅子、筆記用具、プロジェクター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・知られていない自分とは何なのだろうと考える。
<p>(5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・班内で自己紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・まだクラスに知られていない自分を考える。 ・班内で新しい自分の自己紹介をしてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の知らない（他人の知っている）自分を知ることができる。 		

<p>まとめ : 結 (10分)</p> <p>(3分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙を配り、振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動、レクチャーを通して学んだこと感じたことをリアクションペーパーに書くことで、振り返ってもらおう。 	<p>机、椅子、筆記用具、リアクションペーパー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各自自分の感想を書く。
<p>(3分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを数人に発表してもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスで共有する。 	<p>リアクションペーパー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感想を発表する。 <p>(注意)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表してくれた感想をそのままにせずファシリテーターがフィードバックする。
<p>(4分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントで補いながらまとめを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・WS 全体の振り返り。 ・本WSの意義の確認。 	<p>机、椅子、プロジェクター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターに注目する。

5 : 会場のセッティング

- ・参加人数分の机といすの用意。
- ・プロジェクターの用意。

6 : 使用する教材

7 : 参考にした資料

8 : その他